



土壌検査を実施

生育不良の畑はありませんか

町の畑の多くは、低pH（酸性）で、カルシウム（石灰）・マグネシウム（苦土）が不足し、リン酸・カリが過剰の傾向にあります。

バレイシヨ栽培においては、出芽が悪いことや草丈が低い、葉が早くに黄色くなる、葉や茎に斑点がある、生育が遅いなどの症状が発生します。

町ではこれを改善するため、土壌検査を行い、結果に基づき施肥量を示した処方箋を作成して渡しています。次のとおり、検査用の土壌回収を行いますので、土壌の採取・提出をお願いします。

問い合わせ先

役場農政課農政係

☎(86)1136「直通」



1 提出時期

5月18日（月）～5月26日（火）

2 土壌提出場所

野菜集荷所（町内8カ所）に設置する回収コンテナ（平尾・蔵之元・指江・汐見・山門野・田尻・伊唐・鷹巣）

3 提出点数

原則として各農家2点以内。特に生育の悪い畑を優先してください。

4 土壌採取方法

可能な限り、土壌水分の少ない時に採取してください。

【採取方法および採取量】

・図1のように、ひとつのほ場から5カ所土壌を採取し、混合したものを1検体とする。

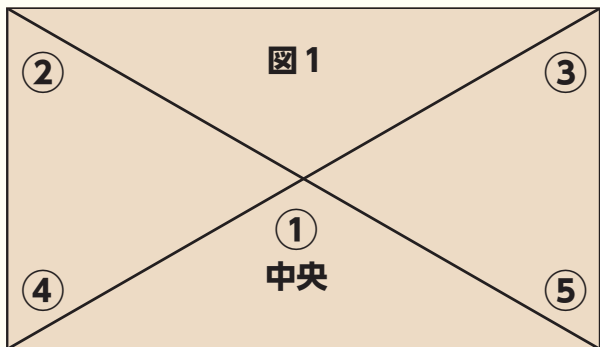
・ほ場の中央部より1カ所（①）と、対角線上に4カ所（②③④⑤）を採取する。

・表土5センチを除去し深さ5～15センチの土壌を移植ごてで採取する。

・採取量は①～⑤のそれぞれの場所
で各茶碗1杯（100g）程度とし、
5カ所分を一つの袋の中でよく混ぜる
（全部で茶碗5杯分程度）

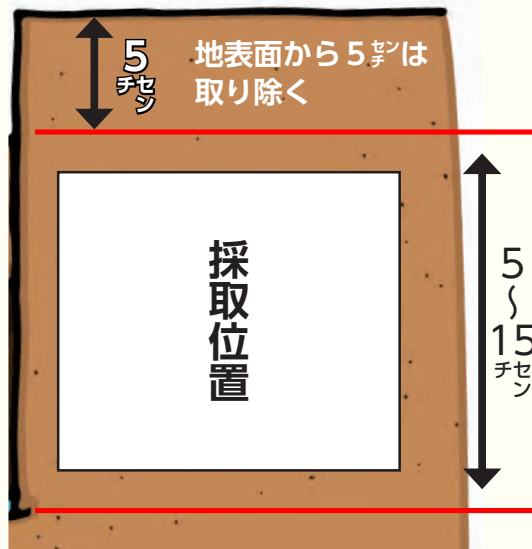
※採取禁止箇所

- ・特に水が溜まっているところ
- ・堆肥の積んであった場所
- ・肥料がこぼれたところ
- ・その他特別な要因



※図2の深さで土壌を採取してください。

図2 地表面



5 提出方法

回収場所にある申込用紙または白い紙に、次の事項を記入して袋に入れてください。

- ・住所、氏名、電話番号
- ・ほ場の字地番
- ・土壌採取前の堆肥・肥料の有無、さつまいも作付の有無
- ・生育不良などがあればその症状

6 診断項目

土壌pH、EC、石灰、苦土、カリ、リン酸、CEC（推定）
土壌診断結果に基づく処方箋を作成のうえ、お知らせします。

7 検査結果

※検査用の土壌回収期間中に天候不良で土壌が採取できない場合があります。収穫時などの晴れた日に早目に採取を行ってください。